

しえるメール



vol.4 (2023年5月)

雪解けとともに
新しい風が
吹き込みました



2023年4月13日 愛宕山公園の桜

シェルフォレスト川内より



インタビュー 川内八幡宮 石倉司 さん

陸奥湾のイルカウォッチングへGO！
ホタテの稚貝の入替作業を体験！

この情報誌は地域の皆さまに
自然や人について発信し、そ
の魅力を再発見してもらうこ
とを目的に、むつ市地域おこ
し協力隊が発行しています。



あなたとちょっと話してみ隊

下北の魅力は山、海、そして人
川内・脇野沢地域の皆さんの魅力を私の視点から発信していきます！

#02 いつかシロウオのように

さくら舞う春の大祭の日、川内八幡宮司の石倉司さん（以下、敬称略）にインタビューさせていただきました！



石倉さん（写真右）

山田 今日は春の大祭に参加させて頂きありがとうございます。

石倉 約280年前の今日、4月21日。ここ川内町で大火災があったといいます。この大災害を忘れないためにもと鎮火のお祭りとして毎年お祭りをしています。

山田 なるほど。この広報誌は西通りの皆さんに向けて発行しているのですが、川内と脇野沢でご神事やお祭りの内容に違いはありますか？

石倉 もともと西通りには3人の神主さんがいたんですが、一昨年私の父が亡くなって、西通りのご神事を私が1人で受け持つことになりました。

山田 西通り一帯をおひとりで！

石倉 そう、それで川内と脇野沢の文化に大きな違いがあることに驚きました。春祭りの対になる行事が秋の新嘗祭、秋まで無事に暮らせたことを感謝するお祭り。なので、川内では春に祈願して秋に感謝をする。対して脇野沢では、冬になると鱒がとれる、それで秋に鱒の豊漁を願うんですね。つまり春に祈願して秋には感謝しつつまた祈願する。こういう地域の特性や違いを知れるのは面白いですね。



春の大祭のため本殿へ向かう石倉さん

山田 石倉さんは川内ご出身で、現在この川内八幡宮で宮司さんをされているということですが、ずっと川内にいらしたんですか？

石倉 田名部高校を出てからは、宮司の資格をとるため東京の國學院大學へ進学しました。大学院では「神道の生命観」について研究をし、当時議論されていた「脳死は死であるのか」について、また臓器移植をめぐる問題について考えました。卒業後は明治神宮、青森県神社庁で勤め、一昨年川内八幡宮の宮司に就任しました。

山田 進路選択をするうえで、神社以外の道を考えたりは？

石倉 しなかったね。物心つく前から「子別当（子どもの別当）」と呼ばれて可愛がられて。いつか宮司さんになると思ってやってきて。だから、大学に入って、神道につい

てより専門的に学べるようになって、水を得た魚のように嬉しかったのを覚えています。

山田 私も大学での専門的な学びが楽しくて面白くて…すごく共感します。実は、私が石倉さんを知ったのはSNSがきっかけで、発信に力を入れていらっしゃるなと思ったんですが…

石倉 SNSを通せば、地球の裏側までこの神社のことが伝えられるし、神社のこととなると、関わる人の年齢層にも偏りが出てしまっていて若者にその文化を伝えづらい。その点、SNSを使えば情報を届けづらかった若者に向けて発信できる。「ああ、こんな風にご神事は継承されてきて、将来は自分たちも参加するんだ」ってイメージしてもらえたらいいなと。あ、あと始めてみておもしろかったのは、川内・脇野沢の出身で今遠方にいらっしゃる方から「神楽の姿が懐かしい」など、反響があって。そんな声も受けて、趣味としてというよりは「川内・脇野沢を伝える」という使命感をもって発信しています。



川内八幡宮 Facebook

山田 石倉さんの投稿を見ていたら、今年のシロウオ漁がスタートしたとか！

石倉 うん。私にはシロウオ漁師としての顔もあって(笑)。桜前線とともに春を告げにやってくる魚、シロウオを毎年この時期に川内川でとっています。魚というのは流れに逆らって泳ぐ性質があって、川は上流から下流に向けて流れるのでシロウオは産卵のために流れに逆らって上に上っていく。山で生まれた子は海へ泳いで行って次の春、生まれた川へ戻ってくる。そこに網を仕掛けて私たちがとる(笑)。



シロウオ漁の様子

山田 春の風物詩なんですね！

石倉 西通りの出身で他の地域にいる若い人も、シロウオみたいに戻ってきてくれたらというのが私の願い。だから、わくわくした気持ちでリターンや1ターンの若者が地域にやってこれるよう、環境づくりや発信をしていけたらなと思います！

シロウオのおどり食いしてみました！



Writer

山田 菜生子

- ・愛知県長久手市 出身
- ・地域おこし協力隊 2年目
- ・イヌよりネコよりカメが好き



下北半島

西通り探検隊



このコーナーでは、川内・脇野沢の地域おこし協力隊のおすすめスポットを皆さんに紹介します！



第3回 イルカウォッチングへGO！

毎年5月上旬から6月中旬まで、陸奥湾でイルカが見られる時期になると、脇野沢港から「夢の平成号」でイルカウォッチングをすることができます。

5月10日、久しぶりに波風が穏やかなこの日、平成号のガイドを担当しました。出港してすぐに、1頭のカマイルカを発見しましたが、さらに船長が船を走らせること数分、我々の目の前に現れたのはイルカの群れ、群れ、群れ！360度、近くから遠くまで、カマイルカに囲まれていました。\\



イルカウォッチング おすすめポイント

1 野生のイルカを観察できる！

水族館のような大ジャンプは見られないかもしれませんが、カマイルカが群れて船の後を付いてくる様子などを観察できます。

2 2022年の運行時イルカ遭遇率は100%！

運がよければ、出港して3分ほどでイルカを発見することも。約1時間のコースなので、気軽に乗船できます。

3 下北ジオパークの見どころも楽しめる！

コースでは鯛島の近くも通ります。毎回乗船するガイドが、ジオパークや脇野沢地域の案内などもいたします。



Writer

小池 拓矢

- ・神奈川県逗子市 出身
- ・地域おこし協力隊 3年目
- ・春は毎年花粉症との戦いです



カマイルカ *Lagenorhynchus obliquidens*

マイルカ科

体長（成体）

雄：1.7～2.5m 雌：2.3m

和名は鎌の形をした背びれに由来します。

毎年、4～6月頃、陸奥湾でその姿を見ることができます。



右を見ても、左を見ても、イルカがジャンプしていました！



2023年5月10日 撮影

この日、イルカウォッチングのために盛岡からいらっしゃるお客様も大満足されていました。今年6月18日までの運航のため、まだの方はぜひ乗船してみてください！
(イルカウォッチングに関する詳しい情報は、むつ市「観光遊覧船『夢の平成号』」のHPをご参照ください)

下北の魚ピックアップ！

3匹目 ホタテ



下北の個人的に気になる魚(?)を紹介していくこのコーナー。今回ピックアップするのは「ホタテ」です！

4月、川内町松川のとてもお世話になっている漁師さんの元で、ホタテの稚貝の入れ替え作業の体験をしてきました！

朝5時、太陽が少し上って、あたりが明るくなり始めたぐらいに船が出港します。港を出ると、ホタテのカゴが吊るしてある場所まで全速前進！

10分ほどでポイントに到着。海の中でカゴ（パールネット）を吊るしている縄を、船の横に固定します。縄が固定されたら、船の左側後方、いつものポジションに入ります！まず浮き玉（フイ）を外し、その後、縄に結ばれたヒモをほどいていきます。ワレカラがびっしり付いて海水を含んだ、ほどきづらいヒモを素早くほどいていきます。顔にワレカラが飛んできて海水まみれになってもただひたすらにほどいていきます。波による船の上下の揺れで、カゴを持つ手ごと海に引っ張られます（…腕がもげる！）カゴの渡し方も、どう渡したら受け取りやすいのか、試行錯誤を繰り返します。1回（船の長さ分）で7本くらいほどき、それを5回～10回くらい繰り返します。

6時半ごろ、船にカゴを積んだまま帰港します。

港でカゴからホタテを取り出し、洗浄し、丸カゴに移していきます。ホタテはデリケートなので、マットの上で入れ替え作業をしていきます。縁が欠けたホタテを取り除きながら、決められた枚数ずつ丸カゴに入れていきます。



ワレカラ

7時半ごろになったら、体験館への出勤のために作業を終えて帰ります。このころには汗だくで、腕は力が入らなくなっています。

今、ホタテのラーバ（幼生）が少ないと話題になっています。地域おこし協力隊として何かできないか…。今後も漁師のお手伝いを継続して、自分にできることを探っていきます！

今回の作業の動画はこちら！



カゴのヒモをほどいている様子



船に積み上げられたパールネット



丸カゴに移動中
1段に1.3枚ずつ！

Writer

大崎 祐暢

- ・青森県青森市 出身
- ・地域おこし協力隊 2年目
- ・早起きが得意になりました！



新たな地域おこし協力隊が着任しました！



2023年4月に新たなむつ市地域おこし協力隊が着任し、現在は4名の隊員でむつ市川内・脇野沢地域を中心とした活動に取り組んでいます。

ここでは、新たな協力隊の紹介をしたいと思います。

村上 菜月（むらかみ なつき）

神奈川県伊勢原市出身 21歳（2001年生まれ）
東京にある水族館について学べる専門学校を卒業後、
地域おこし協力隊に着任しました。

甘いものが大好きです！

趣味：散歩・旅行・写真（生き物の正面の写真がマイブーム）・カフェ巡り



実習終わりにご褒美として食べた、抹茶が練りこまれたパンケーキ



「ホンジュランミルクスネーク」のアルビノ個体
学生時代に一番好きだった子です

Natsuki's ギャラリー



「ヒトヅラハリセンボン」という名の通り人のような顔をしているハリセンボン



食べ方が5変化したラーメン
美味しかった～

構図から組み立て、植栽、日々のメンテナンスまで一から作り上げた自慢の作品

皆さんこんにちは。

しえるメールを手にとってくださりありがとうございます！

むつ市に引っ越して来てから早くも1か月が経ちました。

初めは、知らない土地でうまくやっていたかな…家族や友達と離れて寂しくなるな…など不安もたくさんありました。ですが、話に聞いていた通り、私の大好きな海や山や川に囲まれて、自然を身近に感じることができて、すでにどこから探検しに行こうかなど、ワクワクと楽しい気持ちでいっぱいになりました。そして、人が温かい。生活に不便はないかと心配して下さる方がとても多く、食べ物を分けてくださったり、車が来るまでお買い物に付き添ってくれたり！本当にありがとうございます。

皆さんと関わる中で、自分にできることを模索し取り組んでいきたいと思っています。

今年の目標はイベントや行事を最大限に楽しむことです。

そもそも「地域おこし協力隊」って何？

「地域おこし協力隊は、都市地域から過疎地域等の条件不利地域に住民票を異動し、地域ブランドや地場産品の開発・販売・PR等の地域おこし支援や、農林水産業への従事、住民支援などの「地域協力活動」を行いながら、その地域への定住・定着を図る取組」です（総務省HPより）。

令和4年度には全国の隊員数が6,400人を超え、むつ市の協力隊は、川内・脇野沢地域での観光アクティビティ開発や子どもたちへの環境教育などをミッションに活動をしています。募集状況などにつきましては、下記のホームページをご確認ください。

イベント情報



令和5年6月18日（日）

ガサガサ探検隊 in 湯野川

どんな生き物がいるのか、
みんなで一緒に探してみよう！



令和5年6月25日（日）

第2回 むつ川内ホタテフェスティバル

今年もホタテ釣りやホタテ焼きなど、
楽しいプログラムを開催します！



カマイルカの骨格標本 展示中！

約1年かけて制作した骨格標本を
海と森ふれあい体験館で展示中！



各イベントの詳細情報は、右下のホームページやSNSで随時更新いたしますので、チェックしてみてください！

むつ市海と森ふれあい体験館

開館時間 9:00～17:00

休館日 月曜日・年末年始

入館料 無料

〒039-5201

青森県むつ市川内町川内477

TEL 0175-42-2411



桜と体験館

活動やイベントの情報はこちらでチェック！

ホームページ



LINE



Facebook



Instagram



発行：NPO 法人シェルフオレスト川内